

エコライフDAY2012報告書

～ みんなで地球環境を考えた行動をし、二酸化炭素を減らしました ～

第 13回 実施日 2012年6月10日(日)

参加者

106,311人

1日で減らせた二酸化炭素の総量

96,982,258g

約 97.0 t

杉の木 6961 本が 1 年間に吸収する量 (*1)



ストップこうおんか エコライフDAY 2012 あなたがへらせている二酸化炭素は何gかな?

川口市では過去に無いイメージがある「高温化」へ名称を変更しています。

項目	小学校 年 組 番 男 女				
	20	20	20	20	20
電気・ガス	20	20	20	20	20
食	182	182	182	182	182
しげん	47	47	47	47	47
水	111	111	111	111	111
車	230	230	230	230	230
合計	35	35	35	35	35
	41	41	41	41	41
	5	5	5	5	5
	56	56	56	56	56
	56	56	56	56	56
	86	86	86	86	86
	99	99	99	99	99
	204	204	204	204	204
	46	46	46	46	46
	330	330	330	330	330

※全部で減らすと、583gの二酸化炭素が減らせます。生活の中で、一人一日5.562gの二酸化炭素を出しています。

「水やお湯を流しっぱなしにしない」→294g
 洗濯機とシャワーで、3分ずつ洗いっぱなしをやめた場合、水道水を川の水から浄化する時に11g、シャワーのお湯を流す時に193gのCO2が発生しますので、この分を減らせます。詳しくはHPを見てください。

家族全員での合計

※表にも書いて下さい。ご協力ありがとうございました。

川口市は、昨年10月に鳩ヶ谷市と合併し、人口は517,252人(2011年6月)から580,712人(2012年6月)になりました。

合併後、はじめてとなる今年のエコライフDAYは、人口に対する参加率が昨年比で2.7%増えて、市民の18.3%の人に参加いただきました。どうもありがとうございました。

「エコライフDAYチェックシート」

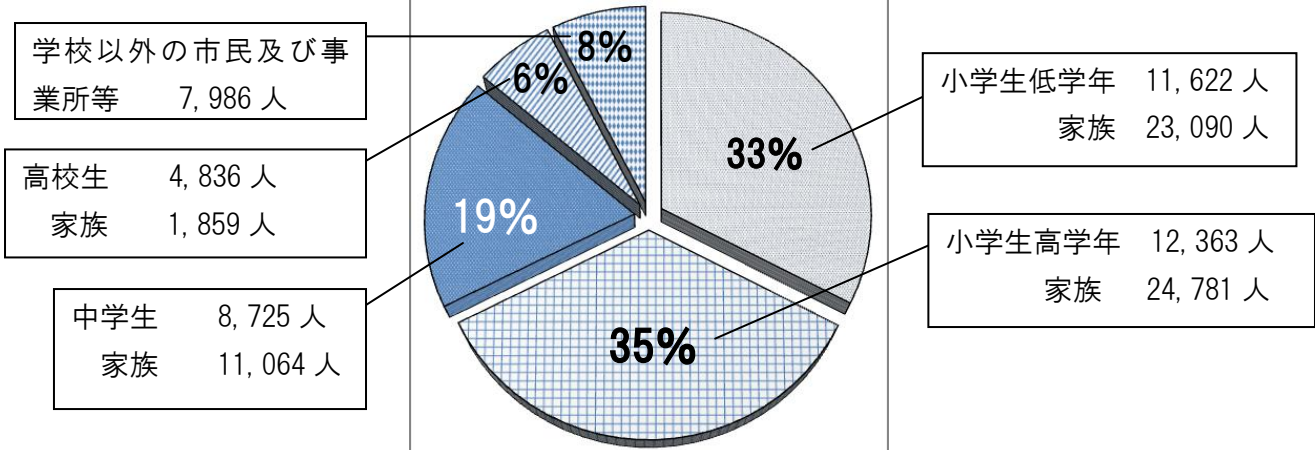
エコライフDAYについて

エコライフDAYとは、「みんなで地球高温化(*2)防止にチャレンジしよう」という日のことです。6月の第2日曜日をエコライフDAYと定め、「エコライフDAYチェックシート」(=1日版環境家計簿)を使って、みんなで環境のことを意識した生活をします。スタート当初、「まずは1日」ということで実施してきましたが、市民の皆さんの環境意識が高まり、エコライフを実践する人が増えてきたため、今年から“一年間を通して自分の生活を振り返り、これから何をしたいか考える日”として実施するようになりました。なおこの取り組みは、2000年に私たち認定NPO法人川口市民環境会議が始め、現在は、川口市・川口市教育委員会との共催事業として実施しています。

*1 直径26cm高さ2.2mの50年経った杉の木が、1年間に吸収する二酸化炭素量で換算しました
 *2 川口市では、「温暖化」という言葉は過ごしやすいイメージがあることから、「高温化」へ名称を変更しています。イラストは、戸塚南小学校5年生の作品です。

参加者内訳

参加者 106,311人 内訳



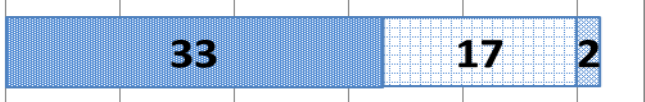
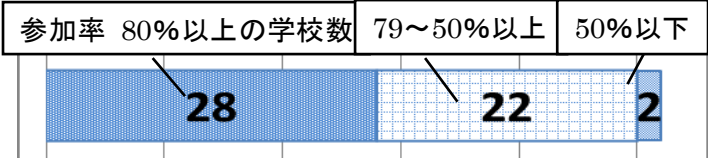
学校全体参加率 73.1%

◆小学校 52校 〈全体参加率 79.4%〉

低学年	参加率	人数
1. 領家小	100%	119人
2. 上青木南小	100%	216人
3. 根岸小	100%	274人

下のグラフは参加率ごとの学校数です

高学年	参加率	人数
1. 上青木南小	99%	271人
2. 芝樋ノ爪小	98%	119人
3. 戸塚南小	97%	443人

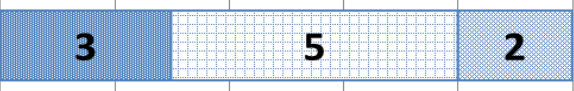
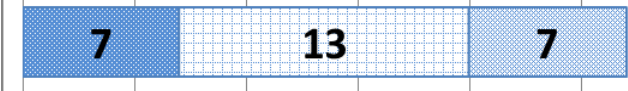


◆中学校 27校 〈全体参加率 62.7%〉

1. 東中	96%	521人
2. 芝園中	92%	59人
3. 幸並中	90%	495人

◆高校 9校 〈全体参加率 62.7%〉

1. 県立鳩ヶ谷高校	89%	732人
2. 県立県陽高校(全日)	86%	418人
3. 県立川口北高校	85%	890人



学校の取り組み (アンケートから)

- [授業]・環境に対する取り組みを映像学習と連動させて知識をさらに広げることができた。(飯仲小)
 - ・総合で「3R」について調べ取り組んだ。(神根小)
 - ・「環境に目を向けよう」総合学習で取り組んでいる。(戸塚小)
 - ・理科の授業で環境の話をする、環境新聞を書かせる。
 - [エコ活動]・登校時にゴミを拾いながら登校する「クリーン作戦」がある。(西中)
 - ・裏紙をプリントに、袋・封筒の再利用。(柳崎小) ・リサイクルボックスを設置。(仲町中)
 - ・キャップやインクカートリッジなどの回収(朝日東小)
 - ・愛校活動。(全校で地域の公園を清掃)(青木中央小)・地域のゴミ拾い。(戸塚西中)
 - ・晴れた日は外で遊び、誰もいない教室の照明を消すようにしている。(根岸小)
 - ・休み時間にエコ係が消灯している。(鳩ヶ谷小)
 - ・日ざしの入る窓側の電気を日中は消す。(舟戸小)
 - ・給食は残さないように心掛けている。(戸塚中) ・校内に木を植える活動。(領家中)
- エコライフ DAY 一日に限らず、前年度の結果とか、取り組みの効果など関係のポスターがクラスに掲示できるともっと参加者が増えるように思う。
- 学年で集会を開き、取り組みについて説明し、その後紙芝居を読んで聞かせました。



◆環境活動の取り組み◆



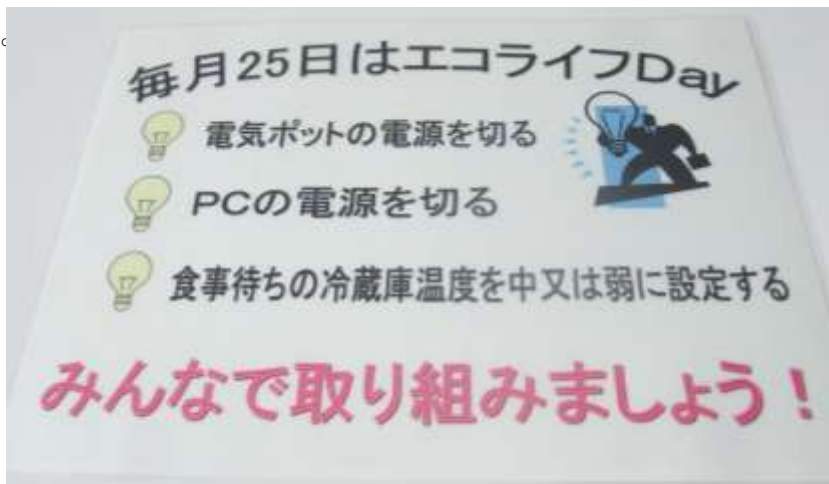
埼玉協同病院では環境に関する国際規格であるISO14001（環境マネジメントシステム）を認証取得しています。医療生協さいたま全事業所一括での取得で、病院としては埼玉県内で初めての認証でした。電力・ガスなどのエネルギー使用量削減の取り組みや廃棄物の適正な処理と削減、再生紙の使用促進、エコキャップの取り組みなど継続的な環境保全活動を行っています。

院内では省エネ推進事務局が中心となって様々な環境活動をおこなっています。

各部門からは、環境活動を推進するためにエコリーダーと呼ばれる人を毎年1名以上選出します。そして、各部門でエコリーダーが中心となってエコライフDAYへの参加の呼びかけや集約を行ったり、環境学習会を開催するなどして、スタッフの環境への意識向上を図っています。

2008年からはエコキャップの収集も行っており、病院の利用者や近隣の小学校からも集められています。現在まで300万個以上のキャップが集められ、とても大きな活動となっています。

これからも病院スタッフ、組合員、地域住民と協力しながら継続的な環境活動に取り組んでいきたいと思えます。



毎月25日は、節電の日として
全部門で取り組んでいます。

エコライフDAYの今年の

参加者数は、414人

CO₂削減量 367,636g

市内の企業・団体の中で2番目に
多い参加者でした。

◆そごう川口店での呼びかけ◆

6月7日(木)に、3Fフローラルホールにて、「エコライフDAY&チャレンジ・エコライフ」パネル展示と参加呼びかけを行いました。

道具を使用したアクリルタワシとかわいいマイ箸袋をつくりました。今年は平日にあたり、人が集まるかと心配しましたが、用意したイスが足りないほどの盛況で



中高年の多かったお客様は、チェックシートにも前向きに参加してくださいました。

ごみを出さない、水を汚さない、CO₂を減らすことなどおしゃべりの輪で盛り上がりました。



ご協力ありがとうございました！！





○計画停電や原発停止による夏の電力不足などがあり、省エネを身近に切実に感じた一年だった。わが家での省エネ対策といえば、グリーンカーテンを設けてなるべく電気に頼ることなく、涼を求める、といったごくありふれたものだったが、工夫次第ではそれほど電気に依存しなくても、何とか乗り切れることがわかった。電気使用量を劇的に削減することは難しい。けれども一人一人のささやかな取り組みで、限りあるエネルギーを有効に活用できる余地はまだあると思う。(一般)

○雷力発電。日本の高地に避雷針のようなものを建て電線をたくさん張り雷のエネルギーを利用する。(メリット)自然エネルギーなので環境に優しく雷雨災害が減少する。電気が直接発生するので交換等の必要性がない。(デメリット)コストがかかり定期点検が行いにくい。建設場所付近は広範囲にわたって立ち入り禁止となる(危険)。

(戸塚西中2年)

○地震もあって今の日本がどんな物でエネルギーを補っているのか疑問をもちました。今までナレでやっているエネルギーのハナシとかぜんぜんわからなかったけど、よく考えるようになりました。ゲンパツとか良いのか悪いのか今はハンダンできないけれど、いつかしっかりハンダンできるようになりたいです。(岸川中2年)

○江戸時代の町の暮らしを参考にしたエネルギーの使い方がいいと思います。インク切れになったボールペンが何かに使えるといいなとか、消しゴムのカスやシャーペンの芯なども捨ててしまうのはもったいないので燃料などに使えないかなあとと思います。いつかその燃料で走る車などができるといいなとも思いました。(戸塚中1年)

○福島第一原発の事故による計画停電は、3月生まれの弟の10才の誕生日の夜を夕方から真っ暗にしました。5本の懐中電灯の灯りの下、冷え冷えした室内で覚めた飲み物、冷たいごはんでお誕生日会をしたのは13才(当時)の私にエネルギーについて考えるのに十分な経験でした。医療被曝も先進国の中で、日本は6倍といわれています。その上原発事故で水も土地も海も空気も放射能汚染にさらされ、1年間の暫定的な安全基準値という食品の基準値とか体内被曝のリスクも加わり、世界唯一の被爆国である日本が原子力を推進する勢力のマネーに牛耳られた結果のおろかさをまじまじと感じました。日本のエネルギーにしても国は今、大飯原発再稼働へと舵をとっています。私は必要以上に明るすぎる夜の街の灯、店内、大きすぎる音量、冬のイルミネーションなど日本は無駄に電気を使いすぎていると思っていたので去年の夏休みは家の中で節電に取り組みました。……電車は間引き運転し、マックは暑く、どこもうす暗くしていたのに、まだバブルの頃といっしょってどれくらいムダづかいをしているのかと思います。今年もゴーヤを育てています。去年より更にマイナスって難しいかもしれませんが、原子力にたよらない日本のエネルギーにしたいと思います。(川口北高1年)

○原子力発電はウラン使用後に出る物質が生物に有害なのでやめるべきです。福島の人々と森林、生物の苦しむ声に耳をかたむけるべきです。政府も東電も、まったくこの苦しみに目をつむっています。(教職員)

○「原発反対」を唱える人もいますが、実際私は原発が廃止されたら、生活がますます苦しくなると思います。原発の恐さは私自身分かっています。けれど今でも節電で大変なのに自分達が苦しくなるのでそこまで否定しなくても良いと思います。

(戸塚西中2年)

○…今回の事故がおきて目に見えない危険があるということが分かった。原発がなくても私たち人間は生きていけます。みんなの協力により原発無しの日本は果たして作れないのでしょうか？私は原発より命の安全の方が大切だと思う。(神根中2年)

○日本は24時間営業の店が多く、もう少しエネルギーを大切にしなければ将来大変なことになると思う。電気の使用量が多すぎると感じます。快適な生活を送ることは電気を使うんだなーと思いました。(榛松中1年)



朝日東小6年



川口総合高校3年

ごみをへらそう！

○日本ではごみの量が年々減っていて、リサイクルも進んでいること、でもごみを埋める土地が足りないということを学びました。だからごみのポイ捨てをしないうできちんと決められた場所に捨てる、川や海で遊んだらきちんとごみを持ち帰るなどみんなでごみを減らして地球を守りたいです。
(根岸小3年)

○2年生か3年生の頃…公園で遊んでいたら、タバコやお菓子の袋でいっぱいになっていました。おばあちゃんに大きな袋を8枚くらいもらって軍手をしてタバコやお菓子の袋を入れました。袋に入らなくなったのでとりあえず家に帰ったら、私は1時間くらいごみ拾いをやって

いたといわれてそんなに時間がたっていたのだと思いました。
(上青木小5年)

○残飯を減らせ！日本はぜいたくだと思う！
(青木中3年)



芝中央小6年

せつ電にもなるよ！

○震災もあり、この一年間は、家族全員で節電に取り組みました。食事の時は、家族で1つの部屋に集まって食べ、4つある電球を2つだけつけていました。
(中学校3年)

○きょうは、一日の半分以上外遊びしました。外で遊ぶと、室内で電気を使用しないのでいいと思いました。
(小学校4年)

やっています！

○部屋の電気器具の蛍光灯2本→一本にした。廊下の電球をLED化、冷蔵庫内冷気流出防止シートの取付け、外灯を極力使わずソーラー自動点灯外灯の設置。小電力の電化製品を低価格にて販売することでもっと普及すると思う。
(一般)

○暑い日などは玄関と窓のあみ戸だけしめて風をとおすようにした。
(上青木南小5年)

○飲み物をお出かけなどの時に持って行く場合は、自販機で買わずに、自分で前に買った飲み物のペットボトルに(500ml~1000ml)飲み物を入れたりした。冷蔵庫を開けると、自分が食べたいものをとるとき分かりやすいところにおくようにして、電気をムダなく使っている。
(岸川中2年)

○雨の水をためて花に水をあげています。
(元郷小1年)

○水道を出して使わないときは止めること。充電器を使わない時はぬくこと。タオルに水をつけて首にかけたりしてエアコンをできるだけつり、夏を過ごしている。

○ふつうの日は、お父さんの帰りがおそいからお風呂につづけて入れないけど、せめて休みの日は「つづけて入ろう」と家族で決めた。
(上青木南小4年)

○コンポストを作って生ごみを土とまぜている。家族でゴミをへらす努力しています。

(本町小3年)

○昨年から、家の庭でグリーンカーテンを始めました。ゴーヤやキュウリなどでやるので

(北中3年)

○僕は、レジ袋をもらわないようにしました。レジ袋をもらわないようにする工夫は、家の玄関の前にエコバックを置いておけば毎日持っていけるので、このような工夫をしました。
(幸並中1年)

○ふだんからCMなどで、震災にかかわらずエコを意識しているところはすごくいいと思いました。…意味のあるCMが見たいです。
(北中3年)

○できる事をするというのは、何に関しても大切だということに改めて気づいた

(戸塚西中3)



戸塚北小4年



中学2年

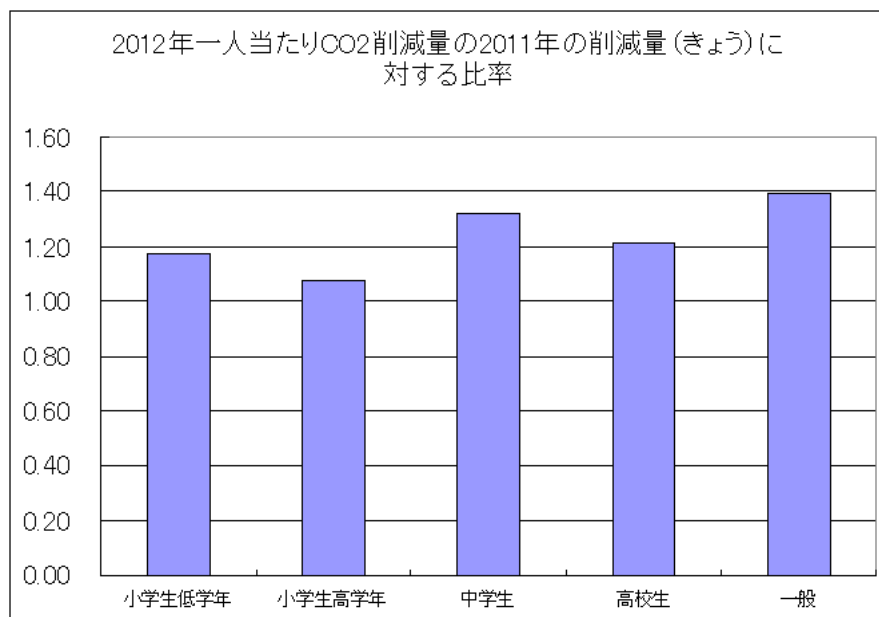
9月に夏を過ごしている。
(南中1年)

★ほかにもコメントやイラストがホームページにのっています。(あなたの作品もあるかも！)

ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife/>

エコライフ DAY サンプル調査について

エコライフ DAY 参加者のうち、小学生低学年（1～3年生）、小学生高学年（4～6年生）、中学生、高校生及び一般（市民及び事業所）から各 300 人ずつをランダムに抽出して CO₂ 削減量を分析しました。

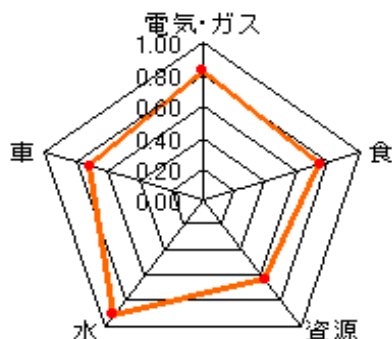


左の図は、今年の一人当たり CO₂ 削減量を前年の「きょう」の削減量と比べたグラフです。平均で 23%削減量が増加しており、とくに中学生及び一般での削減増が大きくなっています。（昨年の削減量を 1 としました）

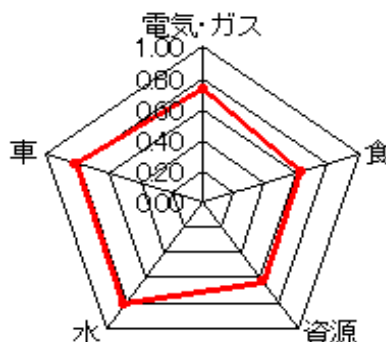
小学校低学年・高学年及び中学生・高校生・一般の分野別エコライフ DAY 実施比率

次に、エコライフ分野別（電気・ガス、食、資源、水、車）の実施状況の比率について、小学生低学年及び高学年のグループと中学生・高校生及び一般のグループとの間で対比してみたものが下の図です。

小学生低学年及び高学年



中学生・高校生及び一般



「小学生低学年及び高学年」では、家族そろって取組んでおり、全分野を通じて高い実施状況です。とくに水の分野では 9 割以上の取り組みでした。

「中学生・高校生及び一般」では、食や資源の分野での実施状況が相対的に低いものの、前年調査の 4 割弱から 6 割程度にまで増加しており大きな進展がみられています。環境に配慮したライフスタイルに向けて、エコライフ DAY の効果が着実に現れていると言えます。

◆“ボランティアスクール”の参加者13人の方、また、市民ボランティアの方に協力していただきました。ありがとうございました。

🍃 エコを身近に感じることができました。仕分けしてイラストやコメントなどを選別しました。電気の節約や水の出し過ぎ防止の呼びかけがけっこう多かったです。自分の私生活を見直すことができたという人や、原発問題について自分の意見を書いている人がいました。みんなちゃんと自分の意見を持っていてえらいなと思いました。私も自分の意見を言うようにしたいと思いました。(南中1年)

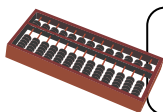


🍃 この作業で一番つらかったのはコメントやイラスト選別の作業です。昼食後の眠気と目の疲れで頭が働かなかったからです。何回も休憩を取りながらも作業を終わらせたときの達成感は忘れられないと思いました。コメントの中には「この紙がエコじゃない」などの辛い意見もありショックを受けました。現状を知るために行っているアンケートなのだと思ったり、たくさんの前向きな意見も書かれていました。年下の子どもたちがこんなにもしっかり未来の日本のことを考えていることにびっくりしました。体験できてよかったです。(鳩ヶ谷高3年)

🍃 毎年夏になるとエコライフDAYのチェックシートがくるのですが、「正直面倒くさいなあ」と思っていました。ボランティアをやった後で、「こんなに陰で努力している人がたくさんいるんだから」これからはきちんとやらなければと思いました。(里中1年)



◆集計ボランティア—CO₂削減量の集計は、そろばん教室の先生と生徒さんにご協力いただいています。計算機などですると大変です。毎年本当にありがとうございます！！



・・・鳩ヶ谷との合併で、集計数が大幅に増える恐怖もありましたが、楽勝でした。まだまだ増えても大丈夫です。これからもエコな計算器具(そろばん、暗算)で協力させていただきます。水沼先生より

生徒さんからひとこと

●私は学校でKid's ISO というのに取り組みました。そこで環境について学ぶことができました。学校でもペットボトルのキャップを集めてワクチンにしたり、ベルマークを集めています。家でもエコバックをもって買い物に行ったりプルタブを集めています。これからもエコをがんばりたいです
慈林小6年 南端 真穂

●今年家族そろって節約をしています。私の家ではごみを分別したり、マイバッグを持っていったりしています。学校では牛乳パックをリサイクルしたりベルマークなどを集めて学校用品にかえたりしています。これからも自分自身エコに対する意識を高めていきたいです。
木曾呂小6年 岩田 陽和

●私は家族といっしょにエコをすることができました。マイバッグをもっていったりマイボトルを遊ぶ時にもっていったりすることができました。私の家ではペットボトルキャップやテトラパック、ベルマークをたくさん集めているのでこれからもたくさん集めて「エコ」をしたいです。
木曾呂小6年 田口 朋実

●エコライフをやったことは、あまりできなかったことです。使っていない部屋の電気を消すなどいつも気を付けたいです。
木曾呂小5年 山田 晋吉



～世界各地で広がる、再生可能エネルギー普及の動き～
映画「第4の革命」 上映会のお知らせ



世界各地で広がる再生可能エネルギー普及の動きを紹介したドキュメンタリー映画です。ドイツで再生可能エネルギー普及の起爆剤となった2つの法律を制定させた中心人物、ヘルマン・シェーア氏の提案により4年がかりで完成。2010年ドイツで最も観られ、その後のドイツのエネルギー政策に影響を与えました。映画上映後、会場全体でのディスカッションもあります。

※「かわぐち自然エネルギー学校」の第3回目として開催します。

- ◇日時:2013年1月26日(土) 13時30分～16時30分
◇会場:メディアセブン (川口駅東口 キュポラ7F) ◇参加費:無料
◇主催:認定NPO法人川口市民環境 ◇後援:川口市 ◇川口市市民活動助成事業
◇お申込み:認定NPO法人川口市民環境会議まで ☎80-5699-1154

主催者より

川口市役所 環境総務課

—これからの私たちの社会の在りかた—

東日本大震災は、私たちが経験したこともない大きな災害であり、この震災を機に、原子力発電を含めた日本のエネルギー計画について、多くの方が関心を持ったと思います。各々、色々な考えを持っていると思いますが、今を生きる私たちが、今後のエネルギーの問題を含め、それを必要とするこれからの社会の在り方について、立ち止まって良く考え、正しく判断する時だと思います。みんなで力を合わせ頑張っていきましょう。

認定NPO法人川口市民環境会議

—ひとり一人の積み重ね—

あるご家庭で、昨年計画停電以降、一つの部屋に家族が集まることが増え、家族だんらんなかで、環境をはじめとして身近な話題が語られるようになりました。結果的に”電気をはじめとするエネルギーの削減につながっていますね”、と笑顔でお話いただきました。自然エネルギーの活用はとても大切なことですが、身近な“できることからひとつずつ”もいつまでも大切にしていきたいですね。

川口市、川口市教育委員会と共催で実施し、川口商工会議所・鳩ヶ谷商工会・川口市商店街連合会の後援をいただきました。また、以下の協力をいただきました。

協力団体：(株)アライ、(株)イーアールシー、(株)飯塚兄弟電機商会、イオンモール(株)イオンモール川口グリーンシティ、イオンリテール(株)イオン川口店、(株)イトーヨーカ堂ザ・プライス川口店、医療生協さいたまケアセンターかがやき、医療生協さいたま埼玉協同病院、ウィンズ保育園、エコルシオンエコリサイクルネットワーク、大富精機(株)、おやこの遊び広場、かつば工業(株)、川口液化ケミカル(株)、川口化学工業(株)川口工場、川口市食生活改善推進員協議会、川口珠算協会、川口市農業協同組合、(社)川口青年会議所、(株)菅土木、木風堂、京セラケミカル(株)本社・川口工場、コーエー・エコビジネス(株)、小原歯車工業(株)、(株)コマーム、サイボー(株)、さしまスローライフ、(有)三喬電機、芝児童センター、精工化学(株)川口工場、(株)セブンイレブン川口新井路店、(株)セブンイレブン川口石神店、(株)セブンイレブン川口源左衛門店、(株)セブンイレブン川口東本郷店、(株)相馬建設工業、(株)そごう川口店、銅鉄商事(株)、(株)東武産興、戸塚児童センターあすばる、(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ川口工場、那須電機工業(株)、南平幼稚園、(株)日環サービス、(株)八十二銀行川口支店、(株)マルエツ安行北谷店、(株)マルエツ安行慈林店、(株)マルエツ上青木店、(株)マルエツ川口キュポラ店、(株)マルエツ芝塚原店、(株)マルエツ西川口東口店、(株)マルエツ東川口店、(株)マルエツ元郷店、(株)マルエツ柳崎店、三国ココラボトリング(株)川口支店、村上商事(株)、(株)明和工務店、(株)モリチュウ、ヤオコー川口朝日店、矢島鋳工(株)、(株)リカベル、レンゴー(株)東京工場、(50音順)

